**EUROPEAN PATENT OF E** 

## Patent Abstracts 1 Japan

PUBLICATION NUMBER

: 02010664

**PUBLICATION DATE** 

: 16-01-90

APPLICATION DATE

27-06-88

**APPLICATION NUMBER** 

: 63159797

**APPLICANT:** 

MITSUBISHI ELECTRIC CORP;

INVENTOR

DOI KUNIHIRO;

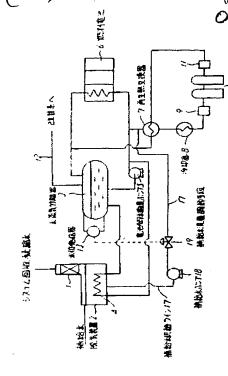
INT.CL

H01M 8/04

TITLE

**FUEL CELL WATER TREATMENT** 

SYSTEM



**ABSTRACT:** 

PURPOSE: To continuously conducting water treatment of cooling water by installing a water purity keeping unit on the discharge side of a cell cooling water circulation pump, and increasing the quality of water which is part of cell cooling water, then introducing the purified water to a steam separator or onto the low pressure side of a cell cooling water pipeline.

CONSTITUTION: Part of cell cooling water is introduced into a recovery heat exchanger 17 for heat recovery in a water purity keeping unit which branches on the discharge side of a cell cooling water circulation pump 5. The water is cooled to less than heat resistant temperature of ion exchange resin with a cooling unit 8, and water treatment is continuously conducted by passing the water through an activated carbon filter 9, an ion exchanger 10, and a makeup filter 11, and solid matters having an electric conductivity of 0.1µs/cm, for instance, and a particle size of 5µm or more are removed. The treated water is heated with cell cooling water in the heat exchanger 7 by heat exchange, then returned to a steam separator 3 or the low pressure side of a cell cooling water pipeline.

**COPYRIGHT: (C) JPO** 

cooling inherently his cont. El. M. Slan?

- Sall

## THIS PAGE BLANK (USPTO)

## FUEL CELL WATER TREATMENT SYSTEM

Patent Number:

JP2010664

Publication date:

1990-01-16

Inventor(s):

DOI KUNIHIRO

Applicant(s)::

MITSUBISHI ELECTRIC CORP

Requested Patent:

F JP2010664

Application Number: JP19880159797 19880627

Priority Number(s):

IPC Classification:

H01M8/04

EC Classification:

Equivalents:

JP2914665B2

#### Abstract

O. I muskum

PURPOSE: To continuously conducting water treatment of cooling water by installing a water purity keeping unit on the discharge side of a cell cooling water circulation pump, and increasing the quality of water which is part of cell cooling water, then introducing the purified water to a steam separator or onto the low pressure side of a cell cooling water pipeline.

CONSTITUTION: Part of cell cooling water is introduced into a recovery heat exchanger 17 for heat recovery in a water purity keeping unit which branches on the discharge side of a cell cooling water circulation pump 5. The water is cooled to less than heat resistant temperature of ion exchange resin with a cooling unit 8, and water treatment is continuously conducted by passing the water through an activated carbon filter 9, an ion exchanger 10, and a makeup filter 11, and solid matters having an electric conductivity of 0.1 mus/cm, for instance, and a particle size of 5mum or more are removed. The treated water is heated with cell cooling water in the heat exchanger 7 by heat exchange, then returned to a steam separator 3 or the low pressure side of a cell cooling water pipeline.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

# THIS PAGE BLANK (USPTO)

### 19 日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

#### ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-10664

Int. Cl. 5

識別記号 庁内整理番号 ❸公開 平成2年(1990)1月16日

H 01 M 8/04

T 7623-5H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

会発明の名称 燃料電池水処理システム

> ②特 願 昭63-159797

22出 願 昭63(1988)6月27日

明者 ⑫発 十 居 邦 宏

兵庫県神戸市兵庫区和田崎町1丁目1番2号 三菱電機株

式会社神戸製作所内

勿出 顋 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

個代 理 人 弁理士 大岩 増雄

外2名

1. 発明の名称

燃料電池水処理システム

2. 特許請求の範囲

電池冷却水を燃料電池に供給して水蒸気分離器 を経て再び上記燃料電池に供給させる電池冷却水 循環ポンプと、上記水蒸気分離器内の水位を検出 する水位発信器と、上記電池冷却水の補給水を脱 気 処 理 する 脱 気 装 置 と を 有 す る 燃 料 電 池 水 処 理 シ ステムにおいて、上記電池冷却水循環ポンプの吐 出個に分岐配設され、上記電池冷却水の一部を導 入して水質を向上させた後、上記水蒸気分離器ま たは上記電池冷却水ラインの低圧側に導出する水 純度維持装置と、上記脱気装置で脱気処理された 補給水を上記水純度維持装置に供給する補給水供 給ラインと、この補給水供給ラインに配設された 補給水ポンプと、上記補給水供給ラインに配設さ れ、上記水位発信器の信号により制御される補給 水流量調節手段とを備えたことを特徴とする燃料 電池水処理システム。

#### 3. 発明の詳細な説明

〔 産業上の利用分野〕

この発明は、電池冷却水ラインの電池冷却水の 水質維持を行う燃料電池水処理システムに関する ものである。

〔従来の技術〕

第2図は、例えばエネルギー資源 Vol 6. Mc 2 ( 1985 年 エオルギー 資源 研究会 発行 ) P 179~P 180 に示された従来の燃料電池水処理システムを示す 系統図である。図において、(1)は脱気筒、(2)は脱 気装置、(3) は水蒸気分離器、(4) は電池冷却水循環 ポンプ(5)の吐出側より分岐供給される電池冷却水 の一部を導入して脱気装置(2)内の水を昇温させる 加熱管、(6) は燃料電池、(7) は再生熱交換器、(8) は 冷却器、(9) は活性炭フィルター、QO はィオン交換 器、凹はメイクアンプフィルター、凶は改質原料 用のスチーム供給管、03 は水蒸気分解器(3)内の水 位を検知する水位発信器、04は水位発信器03の信 号により制御される補給水ポンプ、OSは電池冷却 水の一部を脱気装置(2) にフローし、水質を維持す るためのプロー水配管、 046 は脱気装置 (2) 内の水を水純度維持装置 に導入するブーストポンプである。尚、水純度維持装置 は再生熱交換器 (7) , 冷却器 (8) ,イオン交換器 00 から構成されている。

次に動作について説明する。システム回収凝縮水は、脱気筒(1)において、脱気装置(2)から発生するスチームとの交流接触により溶存する炭酸ガス(002)、窒素(N2)、酸素(02)等がスチーム脱ガスされ、脱気装置(2)に導入される。脱気装置(2)の水位が低下した場合は補給水が供給されて水位が維持される。

脱ガスされたシステム回収疑縮水や補給水は、脱気装置(2)内でプローを協より電池冷却水の水質維持のためにプローされる電池冷却水の配池の土の一部を電池冷却水循環ボンブ(5)の吐出側が入り、大の一部を電池冷却水循環ボンブ(5)の吐出側が入りが、させることにより昇温されて現地では、大の吐出側の残りは燃料電池(6)に供給されて電池反応

給されている。

#### (発明が解決しようとする課題)

この発明は、上記のような課題を解消するためになされたもので、電池冷却水の連続水処理が可能な燃料電池水処理システムを提供することを目的とする。

#### (課題を解決するための手段)

この発明に係る燃料電池水処理システムは、電

熱を吸収し水蒸気分離器(3)にもどる電池冷却水配管ラインを循環される。

脱ガス,脱気された処理水は、ブーストポンプ 個により吸引され水純度維持装置に入る。ここで は熱回収用の再生熱交換器(7)を通り、 さらに冷却器(8)を通つてイオン交換樹脂の耐熱温度以下まで 冷却されて活性炭フィルター(9), イオン交換器 CO ・メイクアンプフィルター(10)を通つて純化され、 電池冷却水ラインへの供給可能な純水となる。

他冷却水循環ポンプの吐出個に水純度維持装置を 分岐配設して電池冷却水の一部を導入し水質を向 上させた後、水蒸気分離器または電池冷却水ライ ンの低圧個に海出させ、脱気装置に脱気処理され た補給水を水位発倡器の信号により制御される補 給水流位関節手段を経て水純度維持装置に供給す るようにしたものである。

#### (作用)

この発明における燃料電池水処理システムは、電池冷却水循環ポンプの吐出側に分岐配設した水純度維持装置により電池冷却水の一部を退続的に水質の向上維持を行い、水位発信器の信号により制御される補給水流量関節手段を経て脱気設置により脱気処理された補給水が水純度維持装置に供給される。

#### (発明の実施例)

以下、この発明の一実施例を図について説明する。第1図において、(1)は脱気筒、(2)は脱気装置、(3)は水蒸気分離器、(4)は電池冷却水循環ボンブ(5)の吐出側より分岐供給される電池冷却水の一部を

導入して脱気装置(2)内の水を昇温させる加熱管、(6) は燃料電池、(7) は再生熱交換器、(8) は冷却器、(9) は活性炭フィルター、 CD はイオン交換器、 CD はメイクアンプフィルター、 CD は改賀原料用のスチーム 供給管、 CB は水蒸気分離器 (3) 内の水位を検知して倡号を送る水位発信器である。

次に動作について説明する。システム 回収凝縮

一部を通し、さらに、冷却器(8)によりイオン交換 樹脂の耐熱温度以下まで冷却させて、活性炭フィ ルター(9)、イオン交換器(10)、メイクアファフィル ター四を通して連続的に水処理を行い、薄電率が 例とは 0.1 μS/om 以下で 5 μ以上の 固形物が除 去された処理水となる。この処理水は再生熱交換器(7)で電池冷却水により昇温され熱回収を行つて 例えば水蒸気分離器(3)または電池冷却水ラインの 低圧側に返送される。

水無気分離器(3)からはスチーム供給管的より改質反応用のスチームが改質を開始された気分離器(3)内の滞留水量が減少して水位が低下する。水量が減少して水位が低下する。水量が減少して水位が低水が重量が低いまり、補給水がでは、対域を動作させ、補給水がでは、対域を関がある。以近、では、対域を向上させた後、水無気分離器(3)また

水は、脱気筒(1)において、脱気装置(2)から発生す るスチームと交流接触して、溶存する炭酸ガス( 002),窒 寮(N2),酸 聚(O2) 等 がスチーム脱 ガス されて脱気装置(2)に導入される。脱気装置(2)の水 位が低下した場合には、補給水が供給されて水位 が維持される。脱気装置(2)内の水は電池冷却水循 環ポンプ(5)の吐出側から分岐供給される電池冷却 水の一部を導入して脱気装置(2)内の水を昇温させ ・る加熱管(4)により昇温されて脱酸素される。一方、 水蒸気分盤器(3)中の加圧熱水は、電池冷却水循環 ポンプ(5)により燃料電池(6)に供給されて電池を冷 却した後、水蒸気分離器(3)にもどり循環使用され る。電池冷却水は循環使用するのみでは電池冷却 水循環タインからの浴出物製等により徐々に消覚 串が上昇して配管ラインや 電池冷却質の腐食を促 進し、ひどい場合には電池冷却管の目づまりで冷 却水流量が確保できなくなつたり、穴があいて電 他を破損することがある。そこで、電池冷却水循 環ポンプ(5)の吐出個より分岐配殴した水純炭維持 装置の熱回収用の再生熱交換器(7)に電池冷却水の

は電池冷却水ラインの低圧倒に導出することができる。即ち、連続して水処理が行うことができ、 プロー水がなく補給水ボンブの動力も小さくてよ く、電池冷却水の水質変動が小さく、水質を安定 に維持することができる。また、燃料電池システィ ムを発電なしの保温状態とした時にも電池冷却水 の連続水処理が可能であり水質維持を行うことが できる。

なお、上記実施例では水蒸気分離器(3)中の滞留水水位が低下した時、水位を検知して調節弁からなる補給水流量調節手段(19)により補給水流量を制御供給する場合について説明したが、補給水ポンプ(3)のストローク長を制御して流量制御してもよい。

#### (発明の効果)

以上のようにこの発明によれば、電池冷却水循環ポンプの吐出圏に分岐配設した水純皮維持装置に電池冷却水の一部を分岐循環させて連税水処理させるようにしたので、水質を安定に維持することができる。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を示す燃料電池水処理システムの系統図、第2図は従来の燃料電池水処理システムを示す系統図である。

図において、(2)は脱気装置、(3)は水蒸気分離器、(5)は電池冷却水質環ポンプ、(7)は再生熱交換器、(8)は冷却器、(0)はイオン交換器、03は水位発信器、07)は組給水供給ライン、0.9は結絡水ポンプ、0.9は補給水流量関節手段である。

尚、図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

代理人 大岩 增雄

